

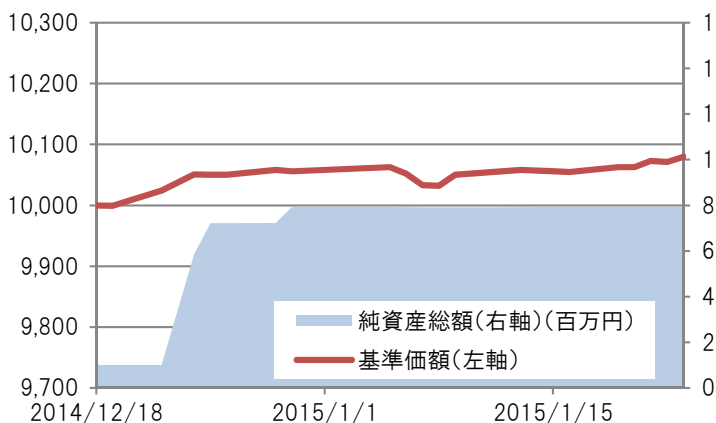
設定来の運用状況と今後の運用方針

平素は「PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム>(毎月分配型) / (年2回分配型) <米ドルインカム>(毎月分配型) / (年2回分配型)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
 当ファンドは2014年12月18日の設定後、約1ヵ月が経過しました。本レポートでは、これまでの運用状況と今後の運用方針等について、皆様にご案内申し上げます。

基準価額の推移 (期間: 2014年12月18日(設定日)~2015年1月23日)

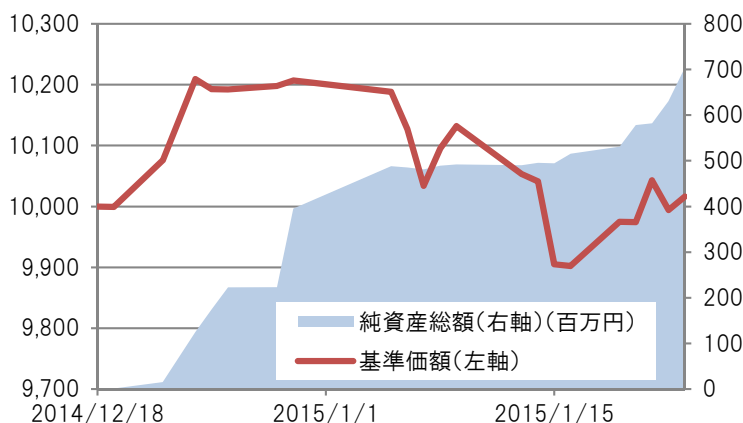
円インカム

毎月分配型

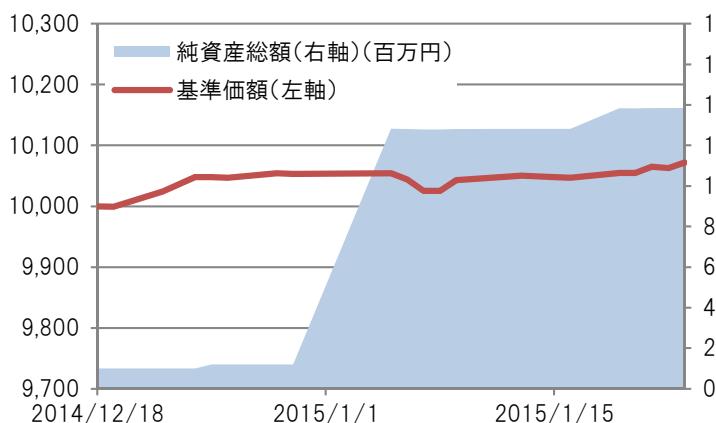


米ドルインカム

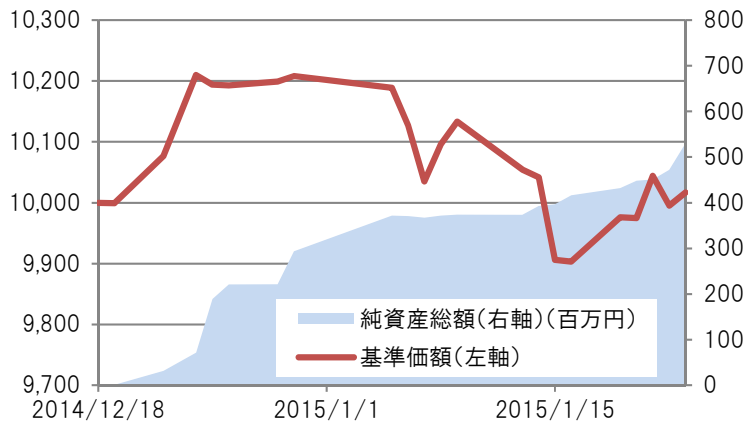
毎月分配型



年2回分配型



年2回分配型



・基準価額は設定日を10,000として指数化しています。  
 ・基準価額は、信託報酬控除後の値です。

■ 上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## 設定後の運用状況と今後の運用方針

## 【設定後の運用状況と今後のバンクローン市況の見通し】

当ファンドの実質的な主要投資対象であるバンクローンは、米国経済の堅調な回復を示唆する経済指標が2014年12月後半に発表されたこと等を背景に堅調に推移しました。当ファンドが実質的に投資している「ピムコ バミューダ バンクローン ファンド(M)」は、こうしたバンクローン市況を背景にプラスのリターンを獲得しました。

今後のバンクローン市況についてみると、バンクローンのデフォルト率は歴史的な低水準で推移しており、発行体(貸付先)である米国企業のファンダメンタルズの改善も続いています。加えて、相対的に高い利子収入の獲得が見込めること、金利上昇への耐性を有していることから、投資家からの安定的な需要が見込まれます。また、バンクローン市場ではハイイールド社債市場等と比較してエネルギーセクターの比率が低く、原油価格の下落による影響を相対的に受けにくいと考えられます。

## 【為替市況と今後の見通し】

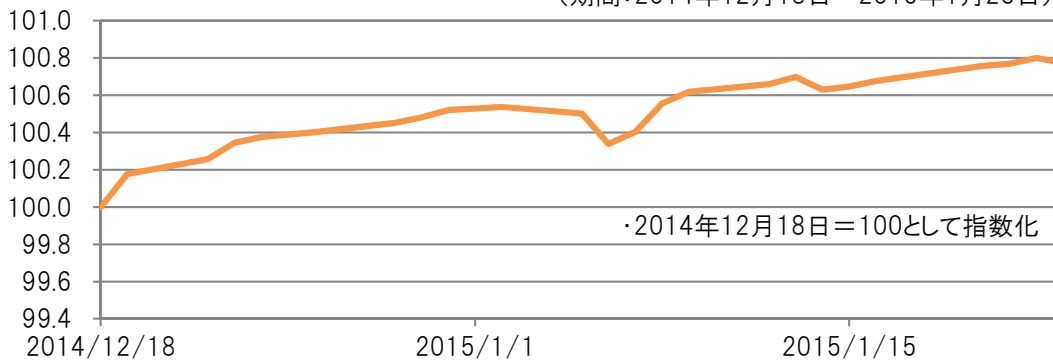
2015年1月初め以降、ギリシャ情勢に対する懸念の再燃、スイスフランの急騰を受けた為替市場の混乱等を背景に投資家心理が悪化し、資金逃避先としての円に対する需要が高まったことから、米ドル安・円高傾向で推移しています。一方、日米金融政策の方向感の違いや日本の貿易赤字など、構造的な米ドル高・円安要因は続いており、中長期的には米ドル高・円安基調が続くと考えられます。

## 【今後の運用方針】

長期的なファンダメンタルズに着目し、慎重な銘柄選定や損失回避が最も重要であると考えており、強固な資本構成を有し事業基盤が安定した比較的信用力の高い銘柄を中心に投資を行う方針です。

## ファンド設定来のバンクローン市況の推移

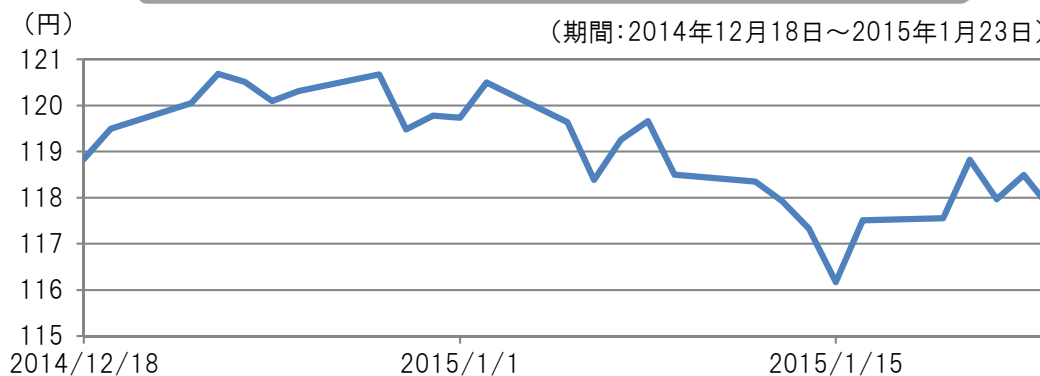
(期間:2014年12月18日~2015年1月23日)



(出所)クレディ・スイス社のデータより三菱UFJ投信作成

## 米ドル(対円)の推移

(期間:2014年12月18日~2015年1月23日)



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況です。本見通しなしいし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。  
 ■ 上記は指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については、【当資料で使用した指数について】をご覧ください。■ 計測期間が異なる場合には結果も異なる点にご注意ください。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## 当ファンドが実質的に投資しているピムコ バンクローン ファンド(M)の運用状況 (2014年12月末現在)

「ピムコ バンクローン ファンド(M)」の運用会社であるピムコ社の資料(現地月末基準)に基づき作成したものです。

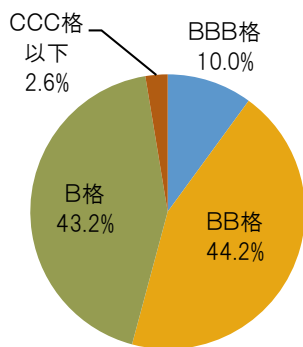
## ポートフォリオ特性

最終利回り	5.47%
直接利回り	4.41%
デュレーション	0.99年
平均格付け	BB-

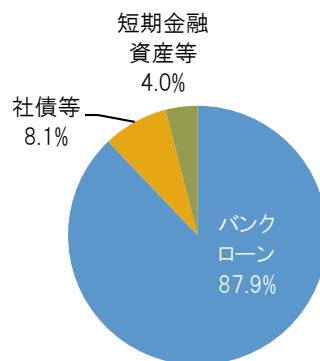
- ・最終利回りは、計算日時点の組入バンクローン等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りは、個別銘柄等についての表面利率を資産価格で除し、組入比率に応じて加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価に基づくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、フロアを考慮して算出したバンクローンの金利感応度を表します。ピムコ社独自の算出方法によるものです。
- ・平均格付けとは、基準日時点で当該ファンドが保有しているバンクローン等に係る信用格付けを加重平均したものであり、当該ファンドに係る信用格付けではありません。

当ファンドが主要投資対象としているバンクローンは、一般に、クーポンが基準金利を基に変更される変動金利のため、固定金利の債券に比べ市場の金利変動による価格変動リスクが小さくなります。また、上記のバンクローンの利回り算出にあたっては、計算日時点の残存期間別の金利水準を基に将来の金利動向を見込んだ数値で利回りを算出しています。よって上記利回りは将来の利回り水準を示唆、保証するものではありません。

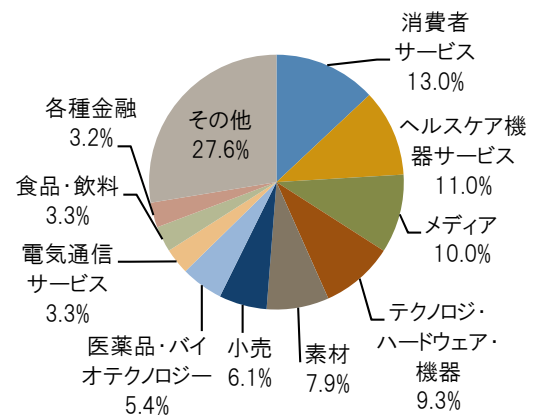
## 格付け別構成比率



## 証券種別構成比率



## 業種別構成比率



- 格付け別構成比率、業種別構成比率は組入バンクローン等の評価額に対する割合です。格付けはS&P社、Moody's社のうち最も高い格付けを採用しています。前記2社の格付けを取得していない場合は、フィッチ・レーティングス社またはピムコ社による独自の格付けを採用します。業種はピムコ社の分類によります。
- 証券種別構成比率は純資産総額に対する割合です。その他債券などバンクローン以外の組み入れがある場合、社債等に含まれます。短期金融資産等には、ピムコ社が現金同等資産と判断した債券等が含まれます。■四捨五入の関係で上記の数字を合計しても100%にならないことがあります。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 408銘柄)

	銘柄	クーポン	償還日	種別	業種	格付	比率
1	BURGER KING WW INC (1011778 BC ULC) TL B	4.500%	2021/12/12	バンクローン	消費者サービス	B+	1.81%
2	AVAGO TECHNOLOGIES LTD TL B	3.750%	2021/05/06	バンクローン	テクノジハードウェア機器	BBB-	1.49%
3	HILTON WORLDWIDE FINANCE LLC TL B	3.500%	2020/10/26	バンクローン	消費者サービス	BB+	1.35%
4	CHS/COMMUNITY HEALTH SYS IN TL D	4.250%	2021/01/27	バンクローン	ヘルスケア機器サービス	BB	1.32%
5	HJ HEINZ CO TL B2	3.500%	2020/06/05	バンクローン	食品・飲料	BB	1.22%
6	ENERGY FUTURE/EFIH DIP TL	4.250%	2016/06/19	バンクローン	公益事業	BBB	1.21%
7	CHARTER COMMUNICATIONS OPER TL G	4.250%	2021/09/12	バンクローン	メディア	BBB-	1.09%
8	ALBERTSON'S HOLDINGS LLC TL B4	4.500%	2021/08/25	バンクローン	小売	BB-	1.07%
9	ORTHO-CLINICAL DIAGNOSTICS TL B	4.750%	2021/06/30	バンクローン	医薬品・バイオテクノロジー	B+	1.02%
10	BMC SOFTWARE INC TL (US BORROWER)	5.000%	2020/09/10	バンクローン	テクノジハードウェア機器	B+	1.01%

- 比率は、組入バンクローン等の評価額に対する割合です。■バンクローンにおいて償還日は弁済期限を表します。

■上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

**PIMCO 米国バンクローンファンド**  
**<円インカム>(毎月分配型) / (年2回分配型) <米ドルインカム>(毎月分配型) / (年2回分配型)**  
**<追加型投信 / 海外 / その他資産(バンクローン)>**

**ファンドの特色**

- 1** 米ドル建てのバンクローンを実質的な主要投資対象とします。
  - 主としてピムコ社が運用する円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建てのバンクローン(貸付債権)(以下、「バンクローン」といいます。)、公社債等を実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)
  - 投資する米ドル建てのバンクローン、公社債等は、原則として取得時においてCCC一格相当以上の格付けを取得しているものに限りです。
  - 当ファンドで投資する円建外国投資信託において、米ドル以外の通貨建てのバンクローン、公社債等に投資することがあります。この場合、米ドル以外の通貨売り、米ドル買いの為替取引を行います。
  - 米国以外の発行体および新興国の発行体が発行する銘柄にも投資することがあります。
- 2** 米国バンクローンファンド<円インカム>と米国バンクローンファンド<米ドルインカム>の2つからお選びいただけます。
- 3** 投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。
- 4** 「毎月分配型」は毎月の決算時(11日(休業日の場合は翌営業日))に、  
 「年2回分配型」は年2回の決算時(4・10月の各11日(休業日の場合は翌営業日))に収益分配を行います。
  - 原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。
  - 分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向により、上記のような運用が行えない場合があります。

**投資リスク**

主な投資リスクとして、組入有価証券等(バンクローンを含みます。以下同じ。)の価格変動リスクや為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク等があります。

**価格変動リスク** 金利変動により組入公社債等の価格が下落することがあります。

**為替変動リスク** 外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

**信用リスク** 組入有価証券等の発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により組入有価証券等の価格が下落することがあります。

ファンドは、格付けの低いバンクローンを投資対象としており、格付けの高い公社債等への投資を行う場合に比べ、信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

したがって、**投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。投資信託は預貯金と異なります。**

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**当資料に関するご注意事項等**

■当資料はPIMCO 米国バンクローンファンドの設定後の運用状況等についてご紹介することを目的に三菱UFJ投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。

**お客様にご負担いただく費用**

購入時	購入時手数料	購入価額× <b>3.24%(税抜 3%)</b> (上限) 購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは販売会社にご確認ください。
換金時	信託財産留保額	ありません。
保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	純資産総額× <b>年1.782%(税抜 年1.65%)</b> ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりません。
	その他の費用・手数料	売買委託手数料等、監査費用、投資対象とする投資信託証券における諸費用等を信託財産からご負担いただけます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に依りて異なりますので、表示することができません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**収益分配金に関する留意事項**

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

**ご購入の際には、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。**

委託会社(ファンドの運用の指図等)	三菱UFJ投信株式会社	設定・運用	三菱UFJ投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)	三菱UFJ信託銀行株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第404号
販売会社(購入・換金の取扱い等)	後記の各照会先でご確認いただけます。	加入協会	一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

《投資信託のご購入の際には、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

